学校番号 J0324

令和4年度 社会科

学年	1	週授業コマ数	3. 5	富中授業時数(45分)	122	標準授業時数(50分)	105
	地理	里的分野:「新しい	へ社会	地理」 (東京書籍)			
使用教科書 歴史的分野:「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」(帝国書院) 地図 :「中学社会科地図」(帝国書院) 地理的分野:アクティブ地理総合 白地図作業帳付(浜島書店)							
副教材等 学習整理地理 1 (学宝社)							
歴史的分野:「つながる歴史 大阪府版」(浜島書店)							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・社会科は「考える教科」です。世界や日本の今や昔のことを知り、課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
- ・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることで物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い、柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
- ・授業では、自分の得た知識や考えを言葉で伝える、文字で伝えるなどの方法で、表現する機会を多く設けたいと思っています。ペアワークやグループ学習も行います。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。分からないところは積極的に先生に質問しましょう。

2 学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【地理的分野】

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に 応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえること ができる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、 活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

その地域構成や地域的特色、地 域の課題などを理解し、その知 識を身に付けている。 ・地図や統計、映像など地域に関 する様々な資料を収集し、有用 な情報を適切に選択して、読み 思している。 歴史 歴史に関わる事象の意味や意義、 位が、上で、大変と変にまとめたり している。 歴史に関わる事象の意味や意義、 伝統と文化の特色などを時期や年 わが国の歴史の大きな流れを、 世界の歴史を背景に、各時代の 特色を踏まえて理解していると をもに、諸資料から歴史に関するととして、諸資料から歴史に関するととして、諸資料から歴史に関する。 を対している。 を対しているとととして、諸資料から歴史に関する場所に考察したり、歴史ととして、諸資料から歴史に関するととのつながりなどに着目して多 では、おうとしている。 を対しているととして、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	観点	a:知識·技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
たことを説明したり、それらを基	観点の	・日本や世界の諸地域について、 その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、 有用な情報を適切に選択して、 読み取ったり図表などにまとめたりしている。 歴史 わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べま	地理的事象から課題を見いだし、 日本や世界の地域的特色を地域の 規模に応じて環境条件や人々の営 みなどと関連付けて多面的して、そ の過程や結果を適切に表現してい る。 歴史 歴史に関わる事象の意味や意義、 伝統と文化の特色などを時期や年 代、推移、比較、相互の関連や現 在とのながりなどに着してを 面的・多角的に考察したり、歴史 にみられる課題を把握して多 場や意見を踏まえて公と表明したり 場や意見を説明したり、それらを基	地理的事象に対する関心を高め、 それを意欲的に追究し、広い視野 に立ってわが国の国土及び世界の 諸地域の特色について認識を養お うとする。 歴史 歴史に関わる諸事象について、国 家及び社会の担い手としてよりよ い社会の実現を視野にそこで見ら れる課題を主体的に追究、解決し

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 **【地理的分野**】 76時数

- 学	単				評価方法	
期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前		第1章 世界の姿	a:緯度と経度,大陸と海洋の分布,主	定期考査	定期考	ノートや
期	第	地球儀や地図帳を活用し、緯度	な国々の名称と位置などを基に,		査	ワーク
	1	と経度、大陸と海洋の分布、主	世界の地域構成を大観し理解して	ノートや		シートの
	編	な国々の名称と位置、地域区分	いる。	ワーク	ノート	記述
	世	などを理解し、世界の地域構成	b:世界の地域構成の特色を,大陸と	シートの	P	
	界	を大観する。	海洋の分布や主な国の位 置, 緯度	記述	ワーク	学習に
	٤		や経度などに着目して多面的・多角		シート	取り組む
	日		的に考察し、表現している。		の記述	姿勢や
	本		c:世界の地域構成について,よりよ			態度
	の		い社会の実現を視野にそこで見ら			
	姿		れる課題を主体的に追究しようと			
			している。			

		第2章 日本の姿 日本の緯度・経度、日本の位置、 地域区分、日本の領域などを理 解し、日本国内を大観する。	a: 日本の国土の位置,世界各地との時差,領域の範囲や変化とその特色などを基に,日本の地域構成を大観し理解している。b:日本の地域構成の特色を,周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し,表現している。 c:日本の地域構成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査ノやワシの記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
	第2編 世界のさまざまな地域	第1章 世界各地の人々の生活と 環境 世界各地の人々の生活の様子 とその変容にいて、自然及び社 会的条件と関連づけてとら え、世界の人々の生活や環境の 多様性を理解する。	a: 世界各地の人々の生活と環境 の多様性について、自然及び 社会的条件と関連づけて、 人々の生活の様子とその変 容を理解し、その知識を身に 付けている。 b: 世界各地の人々の生活と環境 の多様性を、自然及び社会的 条件と関連づけて、人々の生 活の様子とその変容をもと に多面的・多角的に考察し、 その過程や結果を適切に表 現している。 c: 世界各地の人々の生活と環境 の多様性に対する関心を高 め、それを意欲的に追究し、 とらえようとしている。	定期考査 ノートク シートの 記述	定期考査・イヤワシの記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢を 態度
		第2章 世界の諸地域 1 アジア州 ○アジア州の地域を大観しそ の上で、多様性と経済発展 を主題として設定し、地域 的特色を理解する。	a:アジア州の多様性と経済発展を もとに地域的特色を理解し、その 知識を身につけている。 b:アジア州の多様性と経済発展を もとに多面的・多角的に考察し、 その過程や結果を適切に表現して いる。 c:アジア州の地勢と国々に対する 関心を高め、それを意識的に追究 し、とらえようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート や ワート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
後期		2 ヨーロッパ州 ○ヨーロッパ州の地域を大観 し、その上で地域統合を主 題として設定し、地域的特 色を理解する。	a:ヨーロッパ州の地域統合をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けているb:ヨーロッパ州の地域統合をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。c:ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ワート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度

3 アフリカ州 ○アフリカ州の地域を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。	a:アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。b:アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。c:アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意識的に追究し、とらえようとして	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ワート シート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
4 北アメリカ州 ○北アメリカ州の地域を大観 し、その上で世界に対する 影響力を主題として設定 し、地域的特色を理解する。	a:北アメリカ州の世界に対する影響力をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。b:北アメリカ州の世界に対する影響力を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。c:北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査ノやワシの記述	ノートや ワーク シートの 記述 学 取り組む 姿 態度
5 南アメリカ州 ○南アメリカ州の地域を大観し、 その上で開発・環境を主題と して設定し、地域的特色を理 解する。	a:南アメリカ州の開発と環境をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。b:南アメリカ州の開発と環境を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。c:南アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノ や ワ シ の 記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
6 オセアニア州 ○オセアニア州の地域を大観し、その上で他地域との結びつきを主題として設定し、地域的特色を理解する。	a:オセアニア州の他地域との結びつきをもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。b:オセアニア州の他地域との結びつきをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。c:オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ワート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学 習 組む 姿 態度

[※] 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

【歷史的分野】 50時数

学	単			評価方法		
期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前 期	第1部 歴史のとらえ方と調べ方	第1節 歴史の流れと時代区分 第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方 ○西暦、世紀、元号の意味と使い 方を理解し、さまざまな時代区分 があることを理解する。	a:年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。b:時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。c:過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしてい	定期考査 ノークリートの 記述	定するというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ノワシ記 学取姿態
	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	 第1節 人類の登場から文明の発生へ ○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。 ○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。 	a:世界の古代文明や宗教のおこりを もとに、世界の各地で文明が築 かれたことを理解しているととも に、諸資料から歴史に関する様々な 情報を効果的に調べまとめている。 b:古代文明や宗教が起こった場所や 環境に着目して、文明や宗教の特徴 を比較して考察し、共通点に気づく など、事象を相互に関連付けるなど して、古代の社会の変化の様子を多 面的・多角的に考察し、表現してい る。 c:世界の古代文明や宗教のおこりに ついて、よりよい社会の実現を視野 にそこで見られる課題を主体的に 追究しようとしている。	定期考査 ノーク ワートの 記述	定期考をインやワシの記述	ノ ワ シ 記 学 取 姿 態

		佐 0 株 古マジマの上の年	・日上では)。 いいしゃ 神田 ここいい	. L. He for 1	. L. Der Jo	
	第 1	第 2 節 東アジアの中の倭 (日本)	a:日本列島における農耕の広まりと 生活の変化や当時の人々の信仰,	定期考査	定期考	ノートや
	章	○日本列島において狩猟・採集	大和政権による統一の様子と東ア		査	ワーク
	古	を行っていた人々の生活が農	ジアとのかかわりなどをもとに,	ノートや		シートの
	古代国家の成立と東アジア	耕の広まりとともに変化してい	東アジアの文明の影響を受けなが	ワーク	ノート	記述
	家	ったことや,自然崇拝や農耕儀	らわが国で国家が形成されていっ	シートの	p	
	の成	礼などにもとづく信仰が後の時	たことを理解しているとともに,	記述	ワーク	学習に
	菜	代にもつながっていることに気	諸資料から歴史に関する様々な情	日山火止		
	東		報を効果的に調べまとめている。 b:農耕の広まりや生産技術の発展に		シート	取り組む
	デジ	に、ヤマト王権の勢力の広がり	着目して、農耕の広まりが生活や		の記述	姿勢や
	テ	を大きくとらえさせ、東アジアと	社会に与えた影響を考察するな			態度
		のかかわりについては, 大陸か	ど、事象を相互に関連付けるなど			
		ら移住してきた人々のわが国	して、古代の社会の変化の様子を			
		の社会や文化に果たした役割	多面的・多角的に考察し,表現して			
		に気づかせる。	いる。			
			c:日本列島における国家形成につい			
			て、よりよい社会の実現を視野に			
			そこで見られる課題を主体的に追			
		 第 3 節 中国にならった国家	究しようとしている。 a:律令国家の確立に至るまでの過程	⇔# □ * *	/→#a ±ε.) 1 do
		寿 3 即 中国になりつた国家 づくり	a. 保市国家の確立に至るまでの過程 をもとに、東アジアの文物や制度を	定期考査	定期考	ノートや
		○聖徳太子の政治, 大化の改新	積極的に取り入れながら国家のし		査	ワーク
		から律令国家の確立に至るま	くみが整えられ、その後、天皇や貴	ノートや		シートの
		での過程を大きくとらえさせ,	族による政治が展開したことを理	ワーク	ノート	記述
		大陸の文物や制度を積極的に	解しているとともに,諸資料から歴	シートの	P	
		取り入れながら国家のしくみが	史に関する様々な情報を効果的に			# 4
		整えられたことを理解させる。	調べまとめている。	記述	ワーク	学習に
		○大陸からもたらされた仏教が、	b:東アジアとの接触や交流と政治や		シート	取り組む
		わが国の文化のさまざまな面に 影響を及ぼしたことに気づか	文化の変化に着目して,東アジアの 動きが政治や文化に与えた影響を		の記述	姿勢や
		せ,国際的な要素をもった文	考察するなど、事象を相互に関連付			態度
		化が栄えたことを理解させる。	けるなどして、古代の社会の変化の			
			様子を多面的・多角的に考察し、表			
			現している。			
			c:律令国家の形成について,よりよい			
			社会の実現を視野にそこで見られ			
			る課題を主体的に追究しようとし			
		 第4節 展開する天皇・貴族	ている。 a:摂関政治をもとに、天皇や貴族に	少田 本木	少田 本), 1 da
		第4即 展開りる大皇・員族 の政治	a・採用政府をもとに、大量や貢族による政治が展開したことを理解し	定期考査	定期考	ノートや
		○摂関政治をもとに平安京にお	ているとともに、諸資料から歴史に		査	ワーク
		ける貴族の政治の特色をとらえ	関する様々な情報を効果的に調べ	ノートや		シートの
		させる。	まとめている。	ワーク	ノート	記述
		○東アジアの情勢の変化によっ	b:東アジアとの接触や交流と政治や	シートの	Þ	
		て、わが国でも政治と文化にお	文化の変化に着目して、東アジアの	記述	ワーク	学習に
		いて独自の動きが見られるよう	動きが政治や文化に与えた影響を	BUXT.		. , ,
		になったことに気づかせる。 〇日本独自のかな文字が発明さ	考察するなど,事象を相互に関連付 けるなどして,古代の社会の変化の		シート	取り組む
		□ ○日本独自のかな又子が発明され、それを使った文学作品が	様子を多面的・多角的に考察し、表		の記述	姿勢や
		書かれたことなどに気づかせ、	現している。			態度
		文化の国風化が進んだことを	c:古代の文化と東アジアとの関わり			
		理解させる。	について、よりよい社会の実現を視			
1 1		İ			l	1
			野にそこで見られる課題を主体的			

	### . ###		Ī	ı	1
2 章	第1節 武士の世の始まり	a:鎌倉幕府の成立などをもとに,武	定期考査	定期考	ノートや
章		士が台頭して、主従の結び付きや武		杳	ワーク
 	立し、その支配が広まったこと	力を背景とした武家政権が成立し,) 1 do		
家	を理解させる。	その支配が広まったことを理解し	ノートや		シートの
武 武 歌 権	〇武家政治の特徴を考察し, 天	ているとともに、諸資料から歴史に	ワーク	ノート	記述
惟	皇や貴族の政治との違いという	関する様々な情報を効果的に調べ	シートの	B	
成	観点から,古代から中世への	まとめている。	•	,	24 JJ 1 =
の成長と東アジア	転換の様子に気づかせる。	b:武士の政治への進出と展開や貴族	記述	ワーク	学習に
単		の政治との違いに着目して, 武家政		シート	取り組む
完		治の特徴を考察するなど、事象を相		の記述	姿勢や
½		互に関連付けるなどして、古代から			態度
		中世の社会の変化の様子を多面的・			忠及
		多角的に考察し、表現している。			
		c:武家政治の成立とユーラシアの交			
		流について,よりよい社会の実現を			
		視野にそこで見られる課題を主体			
		的に追究しようとしている。			
	第2節 武家政権の内と外	a:元寇が国内に及ぼした影響,南北朝	定期考査	定期考	ノートや
	○元寇がユーラシアの変化の中	の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球		査	ワーク
	で起こったことなど、武家政治	の国際的な役割などをもとに、武家	ノートや		シートの
	の展開とともに,東アジア世界	政治の展開とともに,東アジア世界			シートの
	との密接なかかわりが見られた	との密接なかかわりが見られたこ	ワーク	ノート	記述
	ことを理解させる。	とを理解しているとともに,諸資料	シートの	B	
	○南北朝の争乱の中で室町幕府	から歴史に関する様々な情報を効	記述	ワーク	学習に
	が成立し,武家社会が次第に	果的に調べまとめている。	记处		
	大きな力をもっていったこと,日	b:東アジアの交流に着目して, 東アジ		シート	取り組む
	明貿易で銅銭が大量にもたら	アの動きが国内の政治や社会に与		の記述	姿勢や
	され、貨幣経済の発達を促した	えた影響を考察するなど、事象を			態度
	こと,琉球が日本,明や朝鮮,	相互に関連付けるなどして、中世			尼汉
	東南アジア諸国との中継貿易	の社会の変化の様子を多面的・多			
	を行っていたことに気づかせ	角的に考察し、表現している。			
	る。	c:武家政治の展開と東アジアの動き			
		について,よりよい社会の実現を視			
		野にそこで見られる課題を主体的			
	the the second second	に追究しようとしている。			
	第3節 人々の結びつきが強	a:農業など諸産業の発達,都市や農村	定期考査	定期考	ノートや
	まる社会	における自治的なしくみの成立、多		査	ワーク
	○農業など諸産業の発達や畿内	様な文化の形成、応仁の乱後の社会	ノートや		シートの
	を中心とした都市や農村にお	的な変動などをもとに、民衆の成長			
	ける自治的なしくみの成立が、	を背景とした社会や文化が生まれ	ワーク	ノート	記述
	当時の社会の大きな変化であ	たことを理解しているとともに、諸	シートの	や	
	ることや、それにともなって商品	資料から歴史に関する様々な情報	記述	ワーク	学習に
	流通が活発化したことに気づ	を効果的に調べまとめている。	HU V.	-	
	かせる。	b:農業や商工業の発達に着目して,民		シート	取り組む
	○武家政治の展開や民衆の成長	衆の成長が社会に与えた影響を考		の記述	姿勢や
	を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代	察するなど,事象を相互に関連付け るなどして,中世の社会の変化の様			態度
	の文化の中に現代に結びつく	子を多面的・多角的に考察し、表現			
	ものが見られることに気づかせ	している。			
	る。 ○ 久地に離れが広まる中で離日	c:民衆の成長と新たな文化の形成に			
	○各地に戦乱が広まる中で戦国	ついて、よりよい社会の実現を視野			
	大名が登場し、自らの領国を	にそこで見られる課題を主体的に			
	支配して分国法を定めたり、城	追究しようとしている。			
	下町を形成して産業の振興に				
	努めたりしたことや,下剋上の				
	風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせ				
	化していったことに気づかせ				
	ప .				

第3章 武家政権の展開と世界の動き	第1節 大航海によって結びつく世界 ○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにともなって、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 ○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商	a:ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。b:交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるな	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ヤワーク シート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り 数 態度
き 	人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。 第2節 戦乱から全国統一へ	どして、近世の社会の変化の様子を 多面的・多角的に考察し、表現して いる。 c:世界の動きについて、よりよい社 会の実現を視野にそこで見られる 課題を主体的に追究しようとして いる。 a:織田・豊臣による統一事業とその当	定期考査	定期考	ノートや
	○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃,豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気づかせる。 ○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。	時の対外関係、武将や豪商などの 生活文化の展開などをもとに、近 世社会の基礎がつくられたことを 理解しているとともに、諸資料か ら歴史に関する様々な情報を効果 的に調べまとめている。 b:統一政権の諸政策の目的に着目し て、中世社会から近世社会への変化 が生み出され、日本の政治や文化に 与えた影響を考察するなど、事象を 相互に関連付けるなどして、近世の 社会の変化の様子を多面的・多角的 に考察し、表現している。	ノートや ワーク シートの 記述	査 ノート ヤーク シート の記述	ワーク シートの 記述 学 取 数 数 態 度
	○南蛮文化が取り入れられる一 方,生活に根ざした文化が広 がり,武将や豪商の気風や経 済力を背景とした豪華・華麗な 文化が生み出されたことに気 づかせる。	c:統一事業について,よりよい社会の 実現を視野にそこで見られる課題 を主体的に追究しようとしている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 社会科

学年	2	週授業コマ数	3. 5	富中授業時数(45分)	122	標準授業時数(50分)	105		
使用教科書	地理的分野: 「新しい社会 地理」 (東京書籍) 書 歴史的分野: 「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」(帝国書院) 地図 : 「中学社会科地図」(帝国書院)								
副教材等		学習整 史的分野: 「つな	理地理 がる歴	里総合 白地図作業帳付 ! 2 (学宝社) ! 史 大阪府版」(浜島! 2 (学宝社)	,	·書店)			

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・昨年と同様、社会科を「暗記教科」だと思い込むことはやめましょう。覚えなけばならないことがあるということは否定しませんが、社会科の授業は、現代世界や歴史上の世界にたくさん潜んでいる「??」を理解し、解決していく授業です。授業の中で登場する多くの「??」について解決していきましょう。課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
- ・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることで物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い、柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
- ・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたいと思っています。 他者の考えを受け入れながら、積極的に取り組んでください。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように!

2 学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【地理的分野】

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえることができる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

J						
	観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	地理:観点の趣旨	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象から課題を見いだし、 日本や世界の地域的特色を地域の 規模に応じて環境条件や人々の営 みなどと関連付けて多面的・多角 的に考察し、公正に判断して、その 過程や結果を適切に表現してい る。	地理的事象に対する関心を高め、それ を意欲的に追究し、広い視野に立って 我が国の国土及び世界の諸地域の特色 について認識を養おうとする。		
	歴史:観点の趣旨	我が国の歴史の大きな流れを、世界の 歴史を背景に、各時代の特色を踏まえ て理解するとともに、諸資料から歴史 に関する様々な情報を効果的に調べま とめる技能を身に着けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、 伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在 とのつながりなどに着目して多面 的・多角的に考察したり、歴史にみ られる課題を把握し複数の立場や 意見を踏まえて公正に選択・判断 したりする力、思考・判断したこと を説明したり、それらを基に議論 したりする力強いを養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。		

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

【地理的分野】 76時数

学	単		兴 → (Bg++/ 小型 /Ⅲ +B %#	評価方法			
期	単元名	学習内容		単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前 期	「 第2章日本の地域的特色と地域	第2章(11) ・ 2章(11) ・	O O D O	日本の地形や気候の知生の心では、一次では、一大の大きいの、のは、大きいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大きいのでは、一大もいのでは、一大は、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大もいのでは、一大は、一大は、一大は、一大は、一大は、一大は、一大は、一大は、一大は、一大	定期	定期 ノ ワ シ 記 (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	フワシ記 学取姿態プーロー 述 習り勢度に組や
		る課題を主体的に追究させ る。					

第3章 日本の諸地域	第3章 日本の諸地域(35) 1 九州地方(5) ・ 九州地方(5) ・ 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 九州地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・ 九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	a O b O c	九州地方について、その地域的 特色や地域の課題を理解している。 ①自然環境を中核とした考察の 仕方で取り上げた特色ある事象 と、それに関連する他の事象や、 そこで生ずる課題を理解している。 九州地方において、①自然環境 の成立条件を、地域の広がりや 地域内の結び付き、人々の対応 などに着目して、他の事象やそ こで生ずる課題と有機的に関連 付けて多面的・多角的に考察 し、表現している。 九州地方について、よりよい社会 の実現、見られる課題を主体的に 追究しようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノワシ記 学取姿態
第3章 日本の諸地域	2、中国・四国地方(5) ・中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中国・四国地方において、・④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けさき、人々の事象やそこで生する課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にに追究させる。	a	中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 中国・四国地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定	定期 オー クート かまがら おがら から から から おば から から おば から	ノワシ記学取姿態トクトのに組やののにむや

1			l		
第	3、近畿地方(5)	a	定期考査	定期考査	ノートや
第 3 章	・ 近畿地方について, その地域	○近畿地方について,その地域的特色			ワーク
	的特色や地域の課題を理解さ	や地域の課題を理解している。②人) 1 db	, 1 %	3. 1.0
日本の諸地域	せる。	口や都市・村落を中核とした考察の	ノートや	ノートや	シートの
の 諸	・②人口や都市・村落を中核とし	仕方で取り上げた特色ある事象と、	ワーク	ワーク	記述
地	た考察の仕方で取り上げた特	それに関連する他の事象や,そこで	シートの	シートの	
	色ある事象と, それに関連する	生ずる課題を理解している。	, ,)
	他の事象や,そこで生ずる課	b	記述	記述	学習に
	題を理解させる。	○近畿地方において,②人口や都市・			取り組む
	・ 近畿地方において, ②人口や	村落の成立条件を,			姿勢や
	都市・村落の成立条件を,地	地域の広がりや地域内の結び付			_ ,
	域の広がりや地域内の結び付	き,人々の対応などに着目して,他			態度
	き,人々の対応などに着目さ	の事象やそこで生ずる課題と有機			
	せ,他の事象やそこで生ずる	的に関連付けて多面的・多角的に			
	課題と有機的に関連付けて多	考察し,表現している。			
	面的・多角的に考察, 表現させ	С			
	る。	○近畿地方について,よりよい社会の			
	・ 近畿地方について,よりよい社	実現を視野にそこで見られる課題			
	会の実現を視野にそこで見ら	を主体的に追究しようとしている。			
	れる課題を主体的に追究させ				
	ప				
告	4、中部地方(5)	a	定期考查	定期考査	ノートや
第 3	4、中部地方(5) · 中部地方について, その地域	a ○ 中部地方について, その地域的	定期考査	定期考査	ノートや
第 3 章	・ 中部地方について, その地域		定期考査	定期考査	ノートや ワーク
		○ 中部地方について,その地域的 特色や地域の課題を理解してい	定期考査 ノートや	定期考査 ノートや	
	・中部地方について,その地域的特色や地域の課題を理解させる。	○ 中部地方について,その地域的 特色や地域の課題を理解してい る。	ノートや	ノートや	ワークシートの
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解さ	○ 中部地方について,その地域的 特色や地域の課題を理解してい	ノートやワーク	ノートやワーク	ワーク
第3章 日本の諸地域	・中部地方について、その地域 的特色や地域の課題を理解させる。・③産業を中核とした考察の仕	○ 中部地方について、その地域的 特色や地域の課題を理解している。○ ③産業を中核とした考察の仕方	ノートや	ノートや	ワークシートの
	・中部地方について、その地域 的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕 方で取り上げた特色ある事象 と、それに関連する他の事象	中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこ	ノートやワーク	ノートやワーク	ワークシートの
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解さ	○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、そ	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。	○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。b	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、③産業の	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応など 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現し 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・中部地方について、よりよい社	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。・中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見ら	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c ○ 中部地方について、よりよい社会 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させ	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c ○ 中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
	・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。・中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。・中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見ら	 ○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ③産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c ○ 中部地方について、よりよい社会 	ノートや ワーク シートの	ノートや ワーク シートの	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や

	C 朋事协士/C)	_			, , , ,
第3章 日本	5、関東地方(5) ・ 関東地方について, その地域 的特色や地域の課題を理解させる。	a ○関東地方について,その地域的特 色や地域の課題を理解している。 ○④交通・通信を中核とした考察の仕	定期考査	定期考査	ノートや ワーク シートの
日本の諸地域	・ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させ	方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ⑤ 関東地方において、④ 交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 c ⑤ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ワークシートの記述	ワークシートの記述	記述学り組む姿態度
第3章 日本の諸地域	る。 6、東北地方(5) ・ 東北地方(5) ・ 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・ ⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・ 東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	a 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○ ⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 b ○ 東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びけて、他の事象やそこで生ずる課題をもいる。 c ○ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノートや ワートの 記述 学 取 姿 態度

第3章 日本の諸地域	7、北海道地方(5) ・北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・①自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	a	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノワシ記 学取姿態 学取姿態
第3章 日本の諸地域	第4章 地域の在9方(5) ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。 ・地域的な課題の解決に向けて考察,構想したことを適切に説明,議論しまとめる手法について理解させる。 ・地域の在9方を,地域の結び付きや地域の変容,持続可能性などに着目し,そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察,構想,表現させる。 ・地域の在9方について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究,解決しようとする態度を身に付けさせる。	a ○ 地域の実態や課題解決のための 取り組みを理解している。 ○ 地域的な課題の解決に向けて考察,構想したことを適切に説明, 議論しまとめる手法について理解している。 b ○ 地域の在り方を,地域の結び付きや地域の変容,持続可能性などに着目し,そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察,構想し,表現している。 c ○ 地域の在り方について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノワシ記 学取姿態

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

【歴史的分野】 50時数

を とり クロー	7 = 1 1	5 0 時級				
学	単	W == 1 : 1			評価方法	T
期	元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前 期	第3章武家政権の展開と世界の動き	 第3節 武士による全国支配の完成(4) ○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。 ○江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。 	a 江戸幕府の成立と大名統制,鎖国など の幕府の対外政策と対外関係 をもとに、幕府と藩による支配が確立 したことを理解しているとともに資 料から歴史に関する様々な情報を効 果的に調べまとめている。 b 統一政権の諸政策の目的に着目して、 江戸幕府により全国を支配する しくみが作られ、安定した社会が構築 されたことを考察するなど、事象を相 互に関連付けるなどして、近世の社会 の変化の様子を多面的・多角的に考察 し、表現している。 c 江戸幕府の成立と対外関係について、 よりよい社会の実現を視野にそこで 見られる課題を主体的に追究しよう としている。	定期考査 ノート ワート 記述	定期考査 ノワート 記述	ノ ワ シ 記 学 取 姿 態
		たこと、農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。 ○農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ○藩校や寺子屋などの普及に着	a 身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の上による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の主な化がりをもとに、町人文化が相方のでは、諸資料的に調べるとともに、諸資料的に調べるととも情報を効果的に調が作られ、都市や農村におり全国を支付におり、大工戸幕府によりを考察したり、着目しして、安定した経済が作られ、都市や農村におり、本の文化の変化ので、日本の文化の変化ので、日本の文化の変化のするなどで、大生活文化が生まれたことや、生産化の対方の特徴を考察したりがあるとして、多別として、多別として、多別として、多別として、多別として、多別として、多別に関値を主体的に追究して、まりよいる。と、産業の発達と町人文化などににして、よりよいる。と、まりよいる。	定期考査 ノワシ 記述	定期 考査 フロー・ファン 記述	ノワシ記学取姿態やのに組やをののにむか

24		第5節 社会の変化と幕府の	a	定期考査	定期考査	ノートや
前期		対策(3)	社会の変動や欧米諸国の接近,幕府の	定 州 与 宜	足 为 与 且	
731			政治改革、新しい学問・思想の動きな			ワーク
			どをもとに、幕府の政治が次第に行き	ノートや	ノートや	シートの
		村の変化などをふまえ、近世社	- ,	ワーク	ワーク	記述
		会の基礎が動揺していったこと	しているとともに、諸資料から歴史に	シートの	シートの	,
		に気づかせる。	関する様々な情報を効果的に調べま	, ,	シートの	
		○外国船の接近とそれに対応し	とめている。	記述	記述	学習に
		た幕府による北方の調査や打	b			取り組む
		払令などを取り上げる。	社会の変化と幕府の政策の変化に着			姿勢や
		○財政の悪化などを背景とした幕	目して,貨幣経済が農村に広がる中			_ ,
		府の政治改革を取り上げ,百	で経済的な格差が生み出され,それら			態度
		姓一揆などに結びつく農村の	の背景として百姓一揆がおこったこと			
			や、社会や経済の変化への対応として			
		応というねらいがあったことに	の諸改革の展開を考察するなど、事象			
		気づかせる。	を相互に関連付けるなどして、近世の			
			社会の変化の様子を多面的・多角的に			
		時代を切り開く動きがみられた	考察し、表現している。			
		ことに気づかせる。	C			
			幕府政治の展開について、よりよい社			
			会の実現を視野にそこで見られる課題			
		Art of the NU art (all) a leading	を主体的に追究しようとしている。			
前	第	第1節 欧米諸国における	8版小学団によりよってサムの玄楽サム	定期考査	定期考査	ノートや
期	4 章	「近代化」(5) ○政治体制の変化や人権思想の	欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を			ワーク
	早		成立させてアジアへの進出したことを	ノートや	ノートや	シートの
	近代	つながりなどと関連づけて、ア	理解しているとともに、諸資料から歴	ワーク	ワーク	記述
	代	メリカの独立やフランス革命を	史に関する様々な情報を効果的に調			品工人工
	罚	取り上げ、政治的な対立と社会	べまとめている。	シートの	シートの	
	(前半)	の混乱、そこで生じた犠牲など	b	記述	記述	学習に
	٠		工業化の進展と政治や社会の変化に着			取り組む
)E	が生まれたことに気づかせる。	目して、近代化の進展により欧米			姿勢や
	化代	○工業化による社会の変化という	諸国の政治や社会がどのように変化し			_ ,
	近代国家の歩	観点から, イギリスなどにおける	たかを考察するなど、事象を相互に関			態度
	家	産業革命を取りあげ,資本主	連付けるなどして,近代の社会の変化			
	の	義社会が成立したことや労働	の様子を多面的・多角的に考察し、			
	少み	問題・社会問題が発生したこと	表現している。			
		に気づかせる。	С			
	国	○産業革命の進展にともなって,	欧米における近代社会の成立につい			
	除社	□ 欧米諸国が新たな工業製品の市	て,よりよい社会の実現を視野にそこ			
	と国際社会		で見られる課題を主体的に追究しよ			
	_	場や工業原料の供給地を求めて	うとしている。			
		アジアへの進出を強めたことを理				
		解させる。				
		l .			1	l .

後	(4) ○欧米諸国のアジア進出と関連 づけて取り扱い、アヘン戦争後に 幕府が対外政策を転換して開国 したことと、その政治的および社 会的な影響を理解させ、それが 明治維新の動きを生み出したこと に気づかせる。	a 欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b 工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 a	定期考査 ノ ワ ー ト フ ー ト の 記述 定期考査	定期考査 ノーク ワット 記述 定期考査	ノートや ワートの 記述 学習に 取り納や 態度
後期	(化」の始まり(3) ○明治維新について、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気づかせる。 ○富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止、領土の画定を取りあげ、学制など今日につながる諸制度がつくられたことや、身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づかせる。 ○欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。	富国強兵・殖産興業政策,文明開化の 風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、 人々の生活が大きく変化したことを 理解しているとともに、諸資料的に調 べまとめている。 b 明治政府の諸改革の目的に着目して、 諸改革が政治や文化や人々の生活に 与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との襲抑いる。 有して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相 互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察したの表現している。 に明治維新と近代国家の形成について、 よりよい社会の実現を視野にそこ 自究しようとしている。	ノートや ワーク シートの 記述	ノートや ワーク シートの 記述	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度

第4節 近代国家への歩み(4) ○自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。	a 自由民権運動,大日本帝国憲法の制定 をもとに,立憲制の国家が成立し て議会政治が始まるとともに,日本の 国際的な地位が向上したことを理解 しているとともに,諸資料から歴史に 関する様々な情報を効果的に調べま とめている。 b 議会政治や政治の展開に着目して,世 界との関係や,現代の政治とのつ ながりを考察するなど,事象を相互に 関連付けるなどして,近代の社会の変 化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 c 議会政治の始まりについて,よりよい 社会の実現を視野にそこで見れる 課題を主体的に追究しようとしてい	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノート ワートの 記述 学 取 変 態度
 第5節 帝国主義と日本(4) ○国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ○大陸との関係をふまえて、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 	る。 a 条約改正,日清・日露戦争などをもと に,日本の国際的な地位が向上し たことを理解しているとともに,諸資 料から歴史に関する様々な情報を効 果的に調べまとめている。 b 外交や戦争の展開に着目して,世界と の関係や現代の政治とのつながり を考察するなど,事象を相互に関連付 けるなどして,近代の社会の変化の様 子を多面的・多角的に考察し,表現している。 こ 国際社会との関わりについて,よりよ い社会の実現を視野にそこで見ら れる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	ノートや ワートの 記述 学習に 取り 数を 態度

第1節 アジアの強国の光と	a	定期考査	定期考査	ノートや
影(3)	日本の産業革命とこの時期の国民生			ワーク
○富国強兵・殖産興業政策の	活の変化、学問・教育・科学・芸術	ノートや	ノートや	シートの
下,製糸業,紡績業や鉄鋼業	の発展などをもとに、日本で近代産業			, ,
などの近代産業が日清戦争前	が発達し,近代文化が形成されたこと	ワーク	ワーク	記述
後から飛躍的に発展して,資	を理解しているとともに,諸資料から	シートの	シートの	
本主義経済の基礎がかたまっ	歴史に関する様々な情報を効果的に	記述	記述	学習に
たこと,都市や農山漁村の生	調べまとめている。	品工工厂	品区火厂	子首に
活に大きな変化が生じたことに	b			取り組む
気づかせる。	近代化がもたらした文化への影響に			姿勢や
○近代化遺産を取り上げるなど,	着目して、産業の発展が国民生活や			ek nte
身近な地域を例としながら, 鉄	文化に与えた影響を考察するなど,事			態度
道網の広がりや工業の発達な	象を相互に関連付けるなどして,近代			
どによって人々の生活の変化	の社会の変化の様子を多面的・多角的			
がみられた一方で, 労働問題	に考察し、表現している。			
や社会問題が発生したことに	С			
気づかせる。	近代産業の発達と近代文化の形成に			
○伝統的な文化の上に欧米文化	ついて、よりよい社会の実現を視野			
を受容して, 日本の近代文化	にそこで見られる課題を主体的に追究			
が形成されたことに気づかせ る。	しようとしている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 社会科

学年	3 週授業	コマ数 4.	富中授第	美時数(45分)	157	標準授業時数(50分)	140
使用教科書	歴史的分野: 公民的分野:			日本の歩みと 予」(日本文教)動き」(帝国書院)	
副教材等	歷史的分野: 公民的分野:	「学習整理 「ビジュア』 「実力練成	地理2」(ル公民」(と	: うほう) 社会 公民」	(文理)		

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・中学3年生になって、社会の時間数が増えました。これまで2年間学習してきた「歴史」に加え、新たに「公民」という分野を学習します。「公民」で学ぶのは、私たちが生きる社会がどのようなしくみで動いているのか、この社会にどのような課題があるのかなど、みなさんがこれからよりよい社会をつくっていくための基礎となり得ることです。社会に出る日も近づいているみなさんに、よりよい社会をつくっていく担い手としても、そして自分の身を守るためにも、知っておいてほしいことがたくさんあります。ぜひ興味をもって視野を広げ、自分の糧としてください。
- ・「歴史」の学習も、大正から平成という、ほんの数十年前の出来事を中心に学んでいきます。過去と現在のつながりが目に見えて分かりやすくなったため、身近に感じられることも増えるでしょう。過去の人々の成功や失敗を学び、自分の選択、生き方の指針としてほしいと思います。
- ・今の社会で起こっていることを少しずつでも知っていきましょう。毎日新聞を読むことがベストですが、難しい人は他のメディアを使ってしっかり情報収集をすることを心がけましょう。ただその際には、情報を鵜呑みにするのではなく、批判的に捉えることもぜひ注意してください。
- ・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたいと思っています。 まずは多角的・多面的に物事をとらえ、自分の考えをもつことが大切です。そして他者と意見交換をしてくだ さい。一人ひとり考え方が違うのは当たり前。広い視野と柔軟な態度で意見交換に臨むことで、きっとそれぞ れの世界が広がるはずです。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように!
- ・最後に、社会科は暗記教科ではありません。考える教科です!

2 学習の到達目標

【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

【公民的分野】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1)個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基

に議論したりする力を養う。

(3)現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 評価の観点及びその趣旨

н і іші ,			
観 点	a:知識·技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史 わが国の歴史を背景解に、各時ととなった。というでは、大に、ないでは、大に、ないでは、大に、ないでは、大に、ないでは、大に、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	歴史 整史 養、特色などの関目りの意とを次関目りの意とを次関目りる事象の意とを変更を関連し、 を中に関わる事象のをとをの関目りである。 を中に関わる事のでは、 を中に関わる事のでは、 を中に関わるののでは、 を中に関わるののでは、 を中に関わるののでは、 を中に関わるののでは、 をのののでは、 をののでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいいる。 とでいるのでは、 をでいるのでは、 をでいいる。 といる。 といいる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい	歴史 歴史に関わる諸事象について、こので、こので、こので、こので、こので、とので、こので、とので、とので、とので、とので、とので、とので、とので、とので、とので、と

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学	単				評価方法	
期	元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前	第	第1節 第一次世界大戦と	a:第一次世界大戦の背景とその	定期考査	定期考	ノートや
期	5章近代後半	民族独立の動き(4) ○ヨーロッパ諸国間の対立や民族問題を背景として第一次世界大戦が起こったことに気づかせるとともに、日本の参戦、ロシア革命なども取りあげて、世界の動きと日本との関連をふまえ	がなされたことを理解していると ともに、諸資料から歴史に関する 様々な情報を効果的に調べまとめ	ノートや ワーク シートの 記述	査ノート・ワーク・シート	ワーク シートの 記述 学習に 取り組む
	一二度の世界大	て、大戦がその後の国際情勢および日本に大きな影響を及ぼしたことに気づかせる。 〇国際連盟の成立、中国や朝鮮、インドにおける民族運動の高まり、軍縮条約の締結を取り上げ、日本がどのように対応したかを理解させる。	ている。 b:世界の動きと日本の関係に着目して,第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。 c:第一次世界大戦前後の国際情勢について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に		の記述	姿勢や態度

戦		追究しようとしている。			
ح ا					
日日					
本					
	第2節 高まるデモクラシーの	a:国民の政治的自覚の高まりと文化	定期考査	定期考	ノートや
	意識(3)	の大衆化をもとに,第一次世界大		查	ワーク
	○国民の政治的自覚が高まり, 本格的な政党内閣による政党	戦前後の国際情勢および日本の動	ノートや		シートの
	政治が展開したこと、普通選挙	きと、大戦後に国際平和への努力	ワーク	ノート	記述
	制が実現したこと、米騒動をは	がなされたことを理解していると ともに,諸資料から歴史に関する	シートの	\$	HOVE.
	じめ, 労働運動, 農民運動, 社	様々な情報を効果的に調べまとめ			77 22) ~
	会主義運動などの社会運動が	ている。	記述	ワーク	学習に
	幅広く行われるようになったこ	b:世界の動きとわが国の関係に着目		シート	取り組む
	と,女性の社会的進出が進ん だことなどに気づかせる。	して、第一次世界大戦による日本		の記述	姿勢や
	○大都市の発達や都市に住む	の社会の変化や影響を考察するな			態度
		ど,事象を相互に関連付けるなど して,近代の社会の変化の様子を			
	人々の生活様式や意識の変	多面的・多角的に考察し、表現して			
	化,新聞・雑誌などの普及やラ	いる。			
	ジオ放送の開始などを取り上	c:第一次世界大戦前後の国際情勢と			
	げ, 文化の大衆化が進んだこと	大衆の出現について,よりよい社会			
	を理解させる。	の実現を視野にそこで見られる課			
		題を主体的に追究しようとしている。 る。			
	第3節 戦争に向かう世論	a:経済の世界的な混乱と社会問題の	定期考査	定期考	ノートや
	(4)	発生、昭和初期から第二次世界大	VE/VI-1 H.	查	ワーク
	○世界恐慌に対する各国の対策	戦が始まるまでの日本の政治・外	, , , ,	B.	
	と対立の深刻化, 日本におけ	交の動きなどをもとに, 軍部の台	ノートや		シートの
	る経済の混乱と社会不安の広	頭から戦争までの経過を理解して	ワーク	ノート	記述
	がりを取りあげ、政党政治が行	いるとともに、諸資料から歴史に 関する様々な情報を効果的に調べ	シートの	や	
		まとめている。	記述	ワーク	学習に
	きづまりをみせ、軍部が台頭し	b:経済の変化の政治への影響,戦争		シート	取り組む
	て大陸での勢力を拡張したこ	に向かう時期の社会や生活の変化		の記述	姿勢や
	と, 国際連盟を脱退した日本が	に着目して、二度目の世界大戦が		,,=	態度
	ドイツと日独防共協定を結んで	起こった背景を考察するなど、事			/您/又
	アメリカやイギリスと対立を深め	象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面			
	たこと、中国との戦争が長期化	的・多角的に考察し、表現してい			
	した経緯を理解させる	a.			
	して小工小年 とん工力中で ピージ	c:経済の世界的な混乱と社会問題の			
		発生などについて、よりよい社会			
		の実現を視野にそこで見られる課			
		題を主体的に追究しようとしてい			
		る。			
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			

	第4節	- · 第二 火 典 用 上 ※ 中 の 日 十 の まい	学细 老术	空田	1. 1.85
	第4節 第二次世界大戦の惨禍(4) 〇日本がドイツ、イタリアと三国同盟を結び、アメリカ、イギリス、そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと、日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと、各地へ	a:第二次世界大戦中の日本の政治・ 外交の動き、中国などアジア諸国 との関係、戦時下の国民の生活な どをもとに、大戦が人類全体に惨 禍を及ぼしたことを理解している とともに、諸資料から歴史に関す る様々な情報を効果的に調べまと めている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ワーク シート	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む
	の空襲,沖縄戦,広島・長崎への原子爆弾の投下など,日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから,大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ,国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づかせる。 (戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて,身近な地域の事例を取り上げ,平和	b:世界の動きと日本との関連に着目して,二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。 c:第二次世界大戦と人類への惨禍について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		の記述	姿勢や態度
	な生活を築くことの大切さに気 づかせる。				
第6章 現代 現在に続く	第1節 敗戦から立ち直る 日本(3) 〇戦後の混乱のなかで、国民の 貧しさからの解放の願いや平 和と民主主義への期待などを 背景に、男女普通選挙の確立 や日本国憲法の制定をはじめ として大きな改革が次々に進め られ、国民が苦難をのりこえて 新しい日本の建設に努力し、	a: 日本の民主化と再建の過程,冷戦などをもとに,第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに,諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。b:諸改革の展開と国際社会の変化に着目して,諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と	定期考査 ノートク シートの 記述	定期考 を カート の に が の の の の の の の の の の の の	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や
く日本と世界	現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。 〇日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。 〇戦後の混乱や生活のようす,国民の努力について,身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。 〇冷戦について,国際連合の発足,米ソ両陣営の対立,アジア諸国の独立,朝鮮戦争,その後の平和共存の動きなどを,日本の動きと関連させながら理解させる。	世界とのかかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			態度

	第2節 世界の多極化と日	a: 高度経済成長, 国際社会とのかか	定期考査	定期考	ノートや
	本の成長(5)	わりなどをもとに、日本の経済や		查	ワーク
	○日本が独立を回復して国際連	科学技術の発展によって国民の生	, , , ,	<u> </u>	
	合に加盟し,国際社会に復帰	活が向上し,国際社会において日	ノートや		シートの
	するまでの経緯を理解してい	本の役割が大きくなってきたこと	ワーク	ノート	記述
	る。	を理解しているとともに、諸資料	シートの	P	
	○日本の産業・経済や科学技術	から歴史に関する様々な情報を効	記述	ワーク	学習に
	の著しい発展とそれにともなう	果的に調べまとめて	BL XII		
	生活の向上や、それらを背景と	いる。		シート	取り組む
	する世界有数の経済大国への 急速な成長,および石油危機	b:政治の展開と国民生活の変化に着 目して、国民生活への影響と国際		の記述	姿勢や
	が政治や経済に及ぼした影響	平和の実現への努力について考察			態度
	などに気づかせる。	するなど、事象を相互に関連付け			
	○沖縄返還,日中国交正常化な	るなどして、現代の社会の変化の			
	どを取りあげ、東アジアとの新	様子を多面的・多角的に考察し、表			
	たな関係や当時の国際情勢に	現している。			
	ついて理解させる。	c:日本の経済の発展について,より			
		よい社会の実現を視野にそこで見			
		られる課題を主体的に追究しよう			
	Alternative and the second	としている。			
	第3節 世界の多極化と日	a: 冷戦の終結をもとに、国際協調の	定期考査	定期考	ノートや
	本の成長(5)	平和外交の推進、開発途上国への		查	ワーク
	○日本が独立を回復して国際連 合に加盟し,国際社会に復帰	援助などもふまえ、国際社会にお いてわが国の役割が大きくなって	ノートや		シートの
	するまでの経緯を理解してい	きたことを理解しているととも	ワーク	ノート	記述
	る。	に、諸資料から歴史に関する様々			此处
	○日本の産業・経済や科学技術	な情報を効果的に調べまとめてい	シートの	や	
	の著しい発展とそれにともなう	る。	記述	ワーク	学習に
	生活の向上や,それらを背景と	b:政治の展開と国民生活の変化に着		シート	取り組む
	する世界有数の経済大国への	目して,国民生活への影響と国際平		の記述	姿勢や
	急速な成長,および石油危機	和の実現への努力について考察す		7 1107	態度
	が政治や経済に及ぼした影響	るなど,事象を相互に関連付けるな			忠及
	などに気づかせる。	どして,現代の社会の変化の様子を			
1 1	○沖縄返還,日中国交正常化な	多面的・多角的に考察し, 表現して			
	○仲縄区域、日中国文正帝化な	1 7			l l
	どを取りあげ、東アジアとの新	いる。			
		c:グローバル化する世界について,			
	どを取りあげ、東アジアとの新 たな関係や当時の国際情勢に	c: グローバル化する世界について, よりよい社会の実現を視野にそこ			
	どを取りあげ、東アジアとの新	c:グローバル化する世界について,			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度 【公民的分野】 100時数

学	単				評価方法	
期	元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
前	第	第1節 私たちが生きる現	a:現代日本の特色として少子高齢	定期考査	定期考	ノートや
期	1	代社会の特色 ○現代日本の特色として少子高	化,情報化,グローバル化などが見 られることについて理解するとと		查	ワーク
	編	齢化,情報化,グローバル化な	もに、諸資料から現代日本の特色	ノートや		シートの
	私	どが見られることについて理解	に関する情報を効果的に調べまと	ワーク	ノート	記述
	た	するとともに、諸資料から現代	める技能を身に付けている。	シートの	P	
	ち	日本の特色に関する情報を効 果的に調べまとめる技能を身	b:位置や空間的な広がり,推移や変 化などに着目して,少子高齢化,情	記述	ワーク	学習に
	と	に付けるようにする。	報化、グローバル化などが現在と		シート	取り組む
	現	○少子高齢化,情報化,グロー バル化などが現在と将来の政	将来の政治,経済,国際関係に与える影響について多面的・多角的に		の記述	姿勢や

代	治,経済,国際関係に与える	考察し、表現している。			態度
社会	影響について多面的・多角的 に考察する力,思考・判断した ことを説明する力を養う。	c:私たちが生きる現代社会の特色に ついて,現代日本に見られる課題の 解決を視野に主体的に社会に関わ			
	○私たちが生きる現代社会の特	ろうとしている。			
	色について,現代日本に見ら				
	れる課題の解決を視野に主体				
	的に社会に関わろうとする態度				
	を養う。				
	第2節 現代社会の文化と	a:現代社会における文化の意義や影	定期考査	定期考	ノートや
	私たち	響,日本の伝統文化の特徴と多様	·	杳	ワーク
	○現代社会における文化の意	性について理解している。	ノートや		シートの
	義や影響,日本の伝統文化の 特徴と多様性について理解	b:文化の継承と創造の意義について 多面的・多角的に考察し、表現して	ワーク	ノート	記述
	する。	いる。			日山大正
	○文化の継承と創造の意義に	c : 現代社会の文化と私たちについ	シートの	\$	
	ついて多面的・多角的に考察	て,現代社会に見られる課題の解	記述	ワーク	学習に
	する力、思考・判断したこと	決を視野に主体的に社会に関わ		シート	取り組む
	を説明する力を養う。	ろうとしている。		の記述	姿勢や
	○現代社会の文化と私たちに				態度
	ついて、現代社会に見られる				
	課題の解決を視野に主体的				
	に社会に関わろうとする態				
	度を養う。				
	第3節 現代社会の見方・ 考え方	a: 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本	定期考査	定期考	ノートや
	ラん 刀 ○人間は本来社会的存在であ	質的平等、契約の重要性やそれを		査	ワーク
	ることを基に、個人の尊厳と	守ることの意義及び個人の責任に	ノートや		シートの
	両性の本質的平等, 契約の重	ついて理解している。	ワーク	ノート	記述
	要性やそれを守ることの意	・現代社会の見方・考え方の基礎	シートの	P	
	義及び個人の責任について 理解するとともに,現代社会	となる枠組みとして,対立と合意, 効率と公正などについて理解して	記述	ワーク	学習に
	型解するとどもに,現代任会 の見方・考え方の基礎となる	効率と公正などについて理解している。		シート	取り組む
	枠組みとして,対立と合意,	b:対立と合意, 効率と公正などに着		の記述	姿勢や
	効率と公正などについて理	目して, 社会生活における物事の		▼ / B□ YE	態度
	解する。	決定の仕方、契約を通した個人と			態度
	○社会生活における物事の決 定の仕方,契約を通した個人	社会との関係,きまりの役割について多面的・多角的に考察し,表現			
	と社会との関係、きまりの役	している。			
	割について多面的・多角的に	c:現代社会の見方・考え方について,			
	考察する力、思考・判断した	現代社会に見られる課題の解決を			
	ことを説明する力を養う。	視野に主体的に社会に関わろうと			
	○現代社会の見方・考え方につ いて、現代社会に見られる課	している。			
	題の解決を視野に主体的に				
	社会に関わろうとする態度				
	を養う。				

第4編 私たちと国際社会	 第1節 国家と国際社会 ○領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を理解する。 ○文化と宗教の多様性などを基に、国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○国家と国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 	a: 領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を理解している。 b: 対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性などを基に、国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に察し、表現している。 c: 国家と国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考査ノやワシの記述	ノーク ワートの 記述 学習の組む 姿勢や 態度
	第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み ○世界では、	a:世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。b:対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。c:国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考を ノークト シー・ボーター かまず かっかん かいまま かいかい かいま かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい	定査 ノやワシの記述	ノワシ記 学取姿態 学取姿態

	第5編 私たちの課題 一持続可能な社会をめざして一	○持続のは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	a:持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から,持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を働かせ,私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。c:私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている	定期考査 ノーク ワート 記述	定す イヤワシの	ノーク ワートが 学 取り 学 数 参 態度
後期	第3編 私たちの生活と経済	第1節 消費生活と経済のしくみ しくみ りまな消費生活を中心に経済活動の意義,市場に源の部場を基に市場経済の基本る。 分を基に市場経済の基本る。 の消費者の役割と責任になする。 の消費を選所したことをある。 の消費生活と経済のしくみにのまる力を養う。 の消費生活と経済のしくみにのいて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a:身近な消費生活を中心に経済活動 の意義について理解している。 ・市場における価格の決まり方や 資源の配分を基に,市場経済の基 本的な考え方について理解してい る。 b:対立と合意,効率と公正,分業と 交換,希少性などに着目して,消費 者の役割と責任について多面的・ 多角的に考察し,表現している。 c:市場の働きと経済について,現代 社会に見られる課題の解決を視野 に主体的に社会に関わろうとして いる。	定期考査 ノーク ワート 記述	定査ノやワシの記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り 数学 態度
		第2節 生産の場としての企業 ○現代の生産などのしくみや働き,勤労の権利と義務,労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 ○企業の経済活動における役割と責任,社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善において多面的・多角的に考察する力,思考・判断したことを説明する力を養う。 ○生産の場としての企業について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a:現代の生産などのしくみや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務,労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 b:対立と合意,効率と公正,分業と交換,希少性などに着目して,企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し,表現している。 ・対立と合意,効率と公正,分業と交換,希少性などに着目して,社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し,表現している。 c:市場の働きと経済について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノートク シートの 記述	定期考 査 ノ や ワ シ の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度

	 第3節 金融のしくみとお金の価値 ○現代の金融などのしくみや働きについて理解する。 ○金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 	a:現代の金融などのしくみや働きについて理解している。b:対立と合意,効率と公正,分業と交換,希少性などに着目して,金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察し,表現している。c:金融のしくみとお金の価値について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノート ワート の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学 野 知 数 勢 態 度
第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法	第1節 法に基づく政治と 日本国憲法 ○法に基づく政治,日本国憲法の基本的原則及び天皇の地位と国事に関する行為について理解する。 ○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われている。多角的に考察する力,思考・多角的に考察する力を養う。 ○法に基づく政治と日本国憲法について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a:立憲主義,個人の尊重及び法の支配などを基に、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び日本国民統合の象質をしている。 ・日本国及び日本国民統合の象徴をしている。 ・日本国及び日本国民統合の象質をしての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 b:対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着して、日本の政治が日本国をどに着まづいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:法に基づく政治と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノーク ワーク お述	定査 ノやワシの記述	ノワシ 記 学 取 姿 態
	第2節 日本国憲法と基本的人権 ○日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解する。 ○日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a:日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解している。b:対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。c:日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 査 ノ や ワ シ の 記述	ノートや ワートの 記述 学習 2 取 9 数 態度

	第3節 日本の平和主義 ○日本国憲法が定めている平和主義について理解を深める。 ○日本国憲法が定める平和主義について多面的・多角的に考察したり、日本の平和主義のあり方について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a:日本国憲法が定めている平和主義 について理解を深めている。 b:対立と合意,効率と公正,個人の 尊重と法の支配,民主主義などに 着目して,日本の平和主義のあり 方について多面的・多角的に考察・ 構想し,表現している。 c:日本の平和主義について,現代社 会に見られる課題の解決を視野に 主体的に社会に関わろうとしてい る。	定期考査 ノートや ワーク シートの 記述	定期考 イヤワシの記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
第3編 私たちの生活と経済	第4節 財政と国民の福祉 ○財政及び租税の意義,国民の納税の義務,社会資産保理解 備,環境の保護について理解 する。 ○個人や企業の経済活動に活動に対しる職業の意義の保護における職業の意味と動いで表して理解 が不可能を対して、の動きに対したが難力のである。 ○財政と関係を対したが、地方のは、地方のは、地方のは、地方のは、地方のは、地方のは、地方のは、地方の、地方の、地方の、地方の、地方の、地方、とを説明した。とを説明したり、それを表したりする力、思いる。 ○財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に対会に関わろうとする態度を養う。	a: 財政及び租税の意義, 国民の納税 の義務について理解している。 ・社会資本の整備, 公害の防止な ど環境の保全, 少子高齢社会にお ける社会保障の充実・安定化, 消費 者の保護について, それらの意義 を理解している。 b:対立と合意, 効率と公正, 分業と 交換, 希少性などに着目して, 財政 及び租税の役割について多面的・多角的に考察, 表現している。 ・対立と合意, 効率と公正, 分業と 交換, 希少性などに着目して, 市場 の働きに委ねることが難しい計 題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し, 表現している。 c:財政と国民の福祉について, 現代社会に見られる課題の解決を視野 に主体的に社会に関わろうとして いる。	定期考を ノ ワ シ 記述	定 査 ノや ワシの の こうかん かんしん かんしん かんしん いっぱん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かん	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取め 態度

第2編 私たちの生活と政治 第2章 国民主権と日本	第1節 民主政治と政治参加 ○日本の政治のしくみのあらましや政党の役割,議会制民主主義の意義,選挙の意義。としくみ,多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ○民主政治の推進と,公正な世論の形成や選挙など国のの政治参加との関連に考察したり,公正に判断したことを説明したり,それらを基に議論したりする力を養う。 ○民主政治と政治参加について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に	a:日本の政治のしくみのあらましや 選挙の意義としくみ、政党の役割を 理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決 の原理とその運用のあり方につい て理解している。 b:対立と合意、効率と公正、個人の 尊重と法の支配、民主主義などに着 目して、民主政治の推進と、公正な 世論の形成や選挙など国民の政治 参加との関連について多面的・多角 的に考察、構想し、表現している。 c:民主政治と政治参加について、現 代社会に見られる課題の解決を視 野に主体的に社会に関わろうとし ている。	定期考査 ノートク シートの 記述	定期考 在 ノや ワシの 記述	ノートや ワーク シートの 記述 学習に 取り組む 姿勢や 態度
と日本の政治	会に関わろうとする態度を養う。 第2節 国の政治のしくみ ③国会を中心とするましたの政議会 制民主主義の意義、法について理解する。 ③民主の推進と、公国の政治のが表が、の民主のが表が、公国の政治のを変更にある。 ④民主を表が、の政治のが表が、の政治のでは、との政治のでは、との政治のでは、との政治のでは、との政治のでは、というなどが、でいる。 「現代をであるが、でいる。 「現代会に、の解決を視野に、といるを養う。	a:国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましを理解している。 ・議会制民主主義の意義,多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り,社会の秩序を維持するために,法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 b:対立と合意,効率と公正,個人の尊重と法の支配,民主主義などに着目して,議院内閣制や法に基づく公正な裁判の保障などと国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し,表現している。 c:国の政治のしくみについて,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノワシ記述	定 査 ノ や ワ シ の記述	ノートや ワーク シートの 記述 学取り組む 姿勢を 態度

第3節 くらしを支える地方自治 ○地方公共団体の政治のしく み、住民の権利や義務を基に 地方自治の基本的な考え方 について理解する。 ○よりよい地域社会を作るこ とと、住民の政治参加との関 連について多面的・多角的に 考察したり、公正に判断した りする力、思考・判断したこ とを説明したり、それらを基 に議論したりする力を養う。 ○くらしを支える地方自治に ついて、現代社会に見られる 理題の解決を視既に主体的	a:地方公共団体の政治のしくみ,住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解している。b:対立と合意,効率と公正,個人の尊重と法の支配,民主主義などに着目して,よりよい地域社会を作ることと,住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察,構想し,表現している。c:くらしを支える地方自治について,現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査 ノートク シートの 記述	定期考 イヤワシの記述	ノワシ記 学取 姿態 とり かんしょう かんしょく かんしょく かんしょく かんしょ かんしょく かんしゃ かんしょく かんしゃ かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし
ついて,現代社会に見られる 課題の解決を視野に主体的 に社会に関わろうとする態 度を養う。				